

2013年度（平成25年度） 金沢大学大学院人間社会環境研究科（第2期募集）

入 学 試 験 問 題

試験科目	外国語「英語」
------	---------

\*\*\* 受験生への注意事項 \*\*\*

（解答を始める前によく読んでください。）

- ・ 以下の2問の中から1問のみを選択して解答してください。
- ・ 選択した設問番号を明記してください。
- ・ 上に指定された選択数を超えて解答した場合、または、設問番号を明記していない場合は、答案をすべて無効とすることがあります。

2013年度(平成25年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)  
入学試験問題(法学・政治学専攻)

試験科目	外国語 (英語)		
問題区分	一般・外国人・共通	解答用紙枚数	/ 枚

問1 以下の英文を日本語に訳しなさい。

2013年度(平成25年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)  
入学試験問題(法学・政治学専攻)

試験科目	外国語「英語」		
問題区分	一般・外国人・共通	解答用紙枚数	1枚

問2 次の英文を日本語に訳しなさい。

出典： John Hudson and Stuart Lowe, *Understanding the Policy Process: Analysing Welfare Policy and Practice*, 2<sup>nd</sup> ed., Policy Press, 2009, p. 111, ℓ. 6 – p. 112, ℓ. 28. ただし一部改変している。

2013年度(平成25年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)  
入学試験問題(法学・政治学専攻)

試験科目	法理学1		
問題区分	一般・外国人・共通	解答用紙枚数	1枚

問1は必ず解答し、問2と問3はどちらか一問を選択して解答しなさい。

(解答必須)

問1 「分配的正義」「矯正的正義」「交換的正義」について説明しなさい。その際、それぞれの正義観念が、どのような場面(事件、事実、行為等)の判断基準となるのかについても言及すること。

(問2と問3のどちらか一問を選択)

問2 イマヌエル・カント(Immanuel Kant)の理論における法と道徳の相違について説明しなさい。

問3 「法は不道徳な行為を処罰すべきか」という問題について論じなさい。

以上

2013年度(平成25年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)  
入学試験問題(法学・政治学専攻)

試験科目	国 際 法		
問題区分	一般・外国人・共通	解答用紙枚数	/ 枚

国際法と国内法との関係について論じなさい。

2013年度(平成25年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)  
入学試験問題(法学・政治学専攻)

試験科目	労働法		
問題区分	一般・外国人・共通	解答用紙枚数	1枚

2問とも解答すること、

- 一 以下の事例を読み、法律上の争点を指摘した上で、Aは、どのような法的救済を受けられるかを論じなさい。

(事例)

Aは、大工として住宅建築における床・壁・天井等の建付けを請け負って仕事をしているが、ここ10年間、仕事の大部分はP工務店から発注されていた。この仕事を断ろうと思えば断れるが、次の仕事が来ないおそれがあるので、実際に断ることはない。仕事の内容については、事前に渡される仕様書のほか、P工務店の現場責任者から指示を受けていた。P工務店の就業規則は適用されないが、仕事の時間は、P工務店の従業員と同じであり、現場での朝の打ち合わせにも出席していた。報酬は、施工実績に応じて支払われていた。

Aは、工作中、倒れた資材が当たって負傷し、10日間、入院して休業を余儀なくされた。

- 二 組合民主主義について論じなさい。

2013年度(平成25年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)  
入学試験問題(法学・政治学専攻)

試験科目	商法(会社法)		
問題区分	一般	解答用紙枚数	2枚

以下の設例を読み、問いに答えなさい。

(設例)公開会社であるW株式会社は、取締役会の決議により、H社を割り当て人とした第三者割当による募集新株発行の手続きを進めた。その際、W株式会社の市場株価は20,000円であった。なお、W株式会社の当該募集新株発行は、株主総会の所定の決議を経ていない。

- 問1. 本件募集新株発行の払込価額が、①10000円であった場合と、②18000円であった場合とに分けて、募集株式発行の有効性について論じなさい。
- 問2. 本件募集株式発行の払込価額が、①10000円であった場合と、②18000円であった場合とに分けて、H社の責任について論じなさい。

2013年度(平成25年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)  
入学試験問題(法学・政治学専攻)

試験科目	知的財産法		
問題区分	一般・外国人・共通	解答用紙枚数	1枚

以下の問題から1つを選び答えよ(選択した問題の番号を解答用紙に記載すること)。

問題1

並行輸入の可否について、特許法、商標法、著作権法を比較して論じよ。

問題2

以下の事例を読み問いに答えよ。

〔事例〕

Xは漫画の原作者であり、作画者であるAと共に、漫画aを作成した。Yは、インターネットのサイトを介して、漫画aのキャラクターbの顔を大きく印刷したTシャツをXら権利者の許諾を得ずに通信販売している。なお、Yは、同Tシャツの販売により1,000万円の利益を得た。

〔問い〕

XはYの行為が自らの有する漫画aに対する著作権を侵害するものと考えている。Xは、Yに対して自らの権利に基づきどのような請求を行うことができるか。また、Yはどのような反論を行うと考えられるか。なお、本件の漫画aは著作物であり、aに対する著作権はいまだX及びAの共有に係るものであるとする。